

『授業をしてみよう2』

中学3年生は7月に、学年の先生に対して、2次方程式の図形の問題を説明しました。その際の反省に「もっとテンポよく発表したい」とあり、今回はそれを目指して授業しました。対象は中学1年生。後輩です。

中学1年生は、先輩の発表を模範に、これから多くの発表を行ってまいります。今日はそのための第一歩です。

①数学教員からの説明のあと、始まりの礼を行い、生徒同士の授業がスタート。

③板書が書き終わったら、等しい関係を文章から探しました。



②まずは本日の内容を板書します。



④実はこのとき、ひとつ大事な説明を飛ばしてしまいました。何を文字で表すかを書き忘れていました。

しかし自ら気づき、修正することができました。

下の写真は、ちゃんと修整を行っている瞬間。



⑤参観に来てくださった校長先生。問題を見た途端、後ろの黒板で式をたて確認開始。



⑥例題の答えを質問中。



⑦問の演習を行い、解説。板書の際には後輩たちに見やすいようにしゃがんで書いています。



例題、演習問題と2問の解説を行った後、中学3年生から自評と中学1年生から感想を一人ずつ発表しました。中学1年生からは、予習した式の作り方を間違えていたが理解できた喜びの声がありました。

自評では最初焦ってしまったが途中から落ち着き前を向いて話そうと努力したそうです。中学3年生にはこれからも焦る場面があろうと、落ち着いて前を向いて進んでほしいです。これからは進路選択が待っています。頑張ってください。中学1年生は、先輩の発表を越えられるよう、発表の機会を一つ一つ大切にしてください。